

山岳ぐんま

群馬県山岳連盟

発行人：吉田直人 / 編集人：根井康雄

〒371-0031 前橋市下小出町2-46-1 (小池寛喜方) tel 027-235-9247 E-mail: tomoyoshikoike3810@gmail.com



紅葉に染まる鼻曲山周辺の山並み

top News

2022年度 県民登山大会開催報告

霧積温泉から鼻曲山



事務局長 小池寛喜

第45回大会は、10月30日(日)、快晴の秋空の下、秋の環境美化運動と兼ねて開催され、51名が参加し無事に終えることが出来ました。

山頂付近ではこのところの冷え込みもあり、紅葉は少々遅れていたものの彩られた山々を楽しめました。

今回は「群馬の山歩きベストガイド」から西毛の県境となる鼻曲山を焦点に、歩行距離・標高差のある霧積温

泉から登る往復コースを選択。

上信越高原国立公園のほぼ南端に位置する今回のコースは、登山口付近に古き良き趣を残す温泉宿があり、稜線に出ると群馬-長野県境からの関東平野の眺望も得られる気持ちの良い天然林が広がる中を歩く道があります。

近年は笹枯れが広範囲に進んでいることもあり、穏や



色づき始めた山道を登る



環境美化にも取り組んだ



鼻曲山山頂

かな登山道の所々で足元の谷が深くえぐれている箇所も見通すことができ、地形変化も楽しめます。比較的山深いこともあって、山中には居住者（野生動物）の糞が散見されています。また、行程は6時間程を要することや崩落箇所や道迷いを生じ易い部分もあります。道標の整備が行き届いているとは言えません。

新型コロナの拡大に伴って制限されていた行動が緩められてきています。登山は、屋外活動ということもあって人気があるようですが、コロナの影響で個人や少人数での行動が多くなるのが気掛かりです。平日に行った下

見の際には、山頂で何人もの単独行者とお会いしました。各々が使い込まれた装備を身に付けているので、経験も豊富な方々だと察しますが、個人や少人数でのリスクを理解し、装備を整えて出掛けて欲しいところです。

県民登山大会は、連絡・救助の体制を整え、引率する係員が居ることで安心して山を楽しめます。行動中には、係員・会員らの登山技術・知識を間近に感じ、ご自身の

登山に活かして欲しいと思います。また、引率登山の実践になる県民登山大会は、我々自身の研鑽の場にもなりますので、いつもの登山で抱いている漠然とした不安や過去に経験したミスの対処方法なども、行動時間の許す限り、気兼ねなく聞いて納得いただけたら嬉しく思います。

会員の皆さまには、今回の大会でも、集合・登山口駐車場の確保や事前のコース整備、当日のグループ行動係員、乗合せ

移動車両、緊急時の対応準備など、多くの知識・知恵を活かしていただき、無事に大会が終了されたこと、御礼申し上げます。今後も会員の皆さまにご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。



法人化推進に向けて名称、組織体系などを正式決定

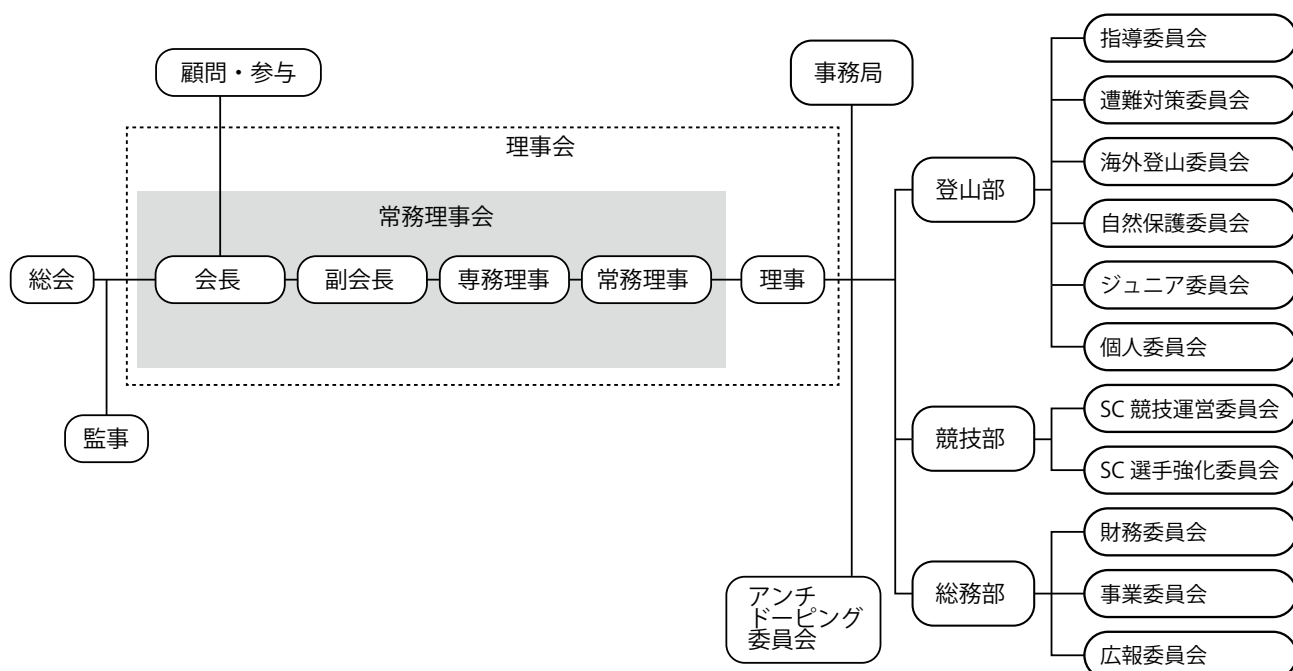
2022年10月5日の常任理事会、同12日の理事会で、23年4月1日の法人化（一般社団法人）に向けた新団体の名称や、法人化に向けたスケジュールなどの基本6項目と組織体系などが議論され、法人化推進に向けた動きが加速された。

基本6項目では、(1) 団体名称は「群馬県山岳・スポーツクライミング連盟」とし、(2) 団体の英語表記は「Gunma Mountaineering and Sports Climbing Federation」、(3) 団体略称は「群馬岳連」、(4) 略称英語表記は「GMSCF」とすることとし、(5) 設立総会は23年2月25日（土）

に開き、(6) 23年4月1日に登記することとした。英語表記については「Association」を推す意見もあったが、「連盟」の英訳にできるだけ忠実に添うこととした。組織体系案については図上への高体連登山部の置き方などの議論を経て、図の通り固まった。

今後、この基本方針案に沿って、法人化への実務手続きが進められ、来春の法人化を迎えることになる。なお、この法人化については、この7月に発行された「山岳ぐんま」123号の冒頭で、吉田会長がその意義、目的を語っている。

一般社団法人 群馬県山岳・スポーツクライミング連盟 組織図(案)



弱電工事承ります。
 電話工事、ネットワーク工事及びセットアップ(LAN 及び Wi-Fi 環境)、
 TV アンテナ及びケーブル工事
 パソコンで悩んでいませんか？
 ソフトの使い方はわかりませんが、ハードの悩みは相談してください。
 (難しい故障の場合は外注となります。)

ミヤマネットワーク

代表 佐藤光由

群馬県前橋市高花台 1-6-5

電話 027-269-1143 携帯 090-8842-2158

2022 登山教室 実施報告

指導委員会 対比地昇

概要

2022(R4) 年度／参加者 23 人 (男 7、女 16) 講師 16 人

回数	実施日	内容	参加	講師	
1	8/29 (月)	開講式、「登山の魅力と安全登山」吉田会長 座学① [ナビゲーション技術 1 (地形図の基礎とその利用) 田中]	21	9	
2	9/ 5 (月)	座学② 「ナビゲーション技術 2 (地図とコンパスの利用、GPS・スマホの利用) 対比地」	23	9	
3	9/10 (土)	登山実技「榛名山」 1 班 (掃部ヶ岳 小池)、2 班 (烏帽子岳 石橋)、3 班 (天目山 田中)	22	10	曇り一時雨
4	9/17 (土)	登山実技「榛名山」 1 班 ((烏帽子岳 石橋)、2 班 (天目山 沼居)、3 班 (掃部ヶ岳 小池)	21	10	曇り時々晴れ
5	9/20 (火)	座学③ 「登山計画書 小池」 座学④ 「山のファーストエイド 細野」 閉講式	19	10	
		皆勤 (修了証)	16		
特別 講習	2/25 (土)	登山実技 (スノーシュー) 「玉原湿原周辺」	申込 10		

2 年間、新型コロナの流行で実施することができなかったが、今年度は 3 年ぶりの開催となった。まだ完全には終息していない状況下で、人数制限、感染防止対策など今までと違うことにも気を配っての開催であった。

7/20、指導員資格保有者を招集し準備会議を行った。参加者は 11 人と例年と比べて少なかったが、いつものメンバーに加えて新しく資格を取った方もいて、講師陣の層に厚みを増すことができた。会議では講習内容や役割分担、感染防止対策などを検討した。併せて夏山リーダーについても学習し、指導員資格更新のための研修扱いにすることができた。

今年度は各新聞社へ要項の掲載依頼はせず、県内 14 の登山用品販売店への要項配布やホームページへの

掲載のみにした。7 月から募集を始め約 1 ヶ月で定員 24 名に達し、その後の申込は断らなければならない状況であった。参加申込者は平均年齢が 50 代前半と例年と変わらなかったが、リピーターが 2 名で初参加者がほとんどであり、男女比は約 1:2 と女性が多かった。

開講式では吉田会長に挨拶と「登山の魅力と安全登山」という題で講義をしていただいた。座学の講習内容はいつもの「ナビゲーション技術 (地形図、コンパス)」を中心に「登山計画書」と「ファーストエイド」を設定した。「登山計画書」は目的や記載内容から始まって最近よく使われているスマホアプリを利用したの届け出方法も詳しく解説した。「ファーストエイド」は第 5 回の座学だけでなく、榛名山での実技講習

時にも、搬送法、止血法、固定方法など要点を絞って講習した。

榛名山での実技講習は、三班に分けて実施した。第 3 回は雲も低く立ちこめ一時雨が降り雨具が必要になったが、地形図、コンパスを使っでのナビゲーション講習を丁寧に行い、コースを短縮した班が多かった。第 4 回は時々晴れ間もあり遠くの眺めも楽しみながら講習ができた。座学で学んだことを 2 回の実践登山でしっかりと身につけることができたようであった。

数字でまとめると募集定員 24 人、実際の参加者 23 人、修了証授与者 (皆勤者) 16 人、スノーシュー申込者 10 人、岳連カレンダー購入者 8 人 10 部、講師 16 人という結果であった。

アンケートの考察とまとめ

毎年同じ内容でアンケートをとってきたが、今年度は3項目(9, 11, 12)増やした。

「講師の対応は？」については好印象を持った方がほとんどで、熱心、かつ丁寧に伝えようとする講師の姿勢が伝わったようである。

「今後どのような講習会を希望しますか？」の回答は「今回のような」と「初心者対象で今回と違う内容」を合わせて72%、「指導者資格についてどう思っていますか？」という質問については「関心なし」「未定」が79%という結果だった。この登

山教室が初心者を対象として登山経験の浅い方が多いということを考えると予想通りの結果であった。

講師の方々も経験を重ね、熱心さだけでなく内容や説明の仕方なども工夫を重ねてきた。参加者の方々からも講習内容、費用、座学と実技の構成、講師の対応など概ね良かったという評価をいただいたが、「同じ内容でも講師によって表現が異なり分かりにくい」という指摘もあり、今後の課題もいただいた。

「登山はもっと自然を楽しめると思っていました・・・」という

感想があったが、この講習会は「安全で楽しい登山のための基本的な知識と技術を習得」という目的で行っている関係上、危険の回避や非常時の対応ということが主な講習内容になってしまう。ここ何年かは第1回に「登山の魅力と安全登山」というテーマで講義を設けているが、登山の魅力も伝えていければよいと思っている。また、県民登山や自然観察会など楽しさが伝えられる行事への参加も促したい。



アンケート集計 (回答者数 20)

1. 性別
- ・男・・・6
 - ・女・・・14
2. 年齢
- ・ ～30・・・0
 - ・31～40・・・1
 - ・41～50・・・4
 - ・51～60・・・9
 - ・61～70・・・5
 - ・71～・・・1
3. 何で知りましたか
- ・ホームページ・・・6
 - ・新聞・・・0
 - ・知人・・・7
 - ・店頭に置かれた要項・・・7
 - ・その他(山と溪の店石井のイヌ)・・・1
4. 登山経験
- (1) 登山を始めて何年ぐらいですか
- ・0～2年・・・10
 - ・3～4年・・・3
 - ・5～6年・・・4
 - ・7～10年・・・2
 - ・11～15年・・・0
 - ・16～20年・・・1
 - ・21年～・・・0
- (2) 1年に何回くらい登山に出かけますか
- ・0～5回・・・5
 - ・6～10回・・・3
 - ・11～15回・・・1
 - ・16～20回・・・1
 - ・21～30回・・・1
 - ・31回～・・・6
- (3) 小屋泊での登山経験はありますか
- ・あり・・・7
 - ・なし・・・13
- (4) テント泊での登山経験はありますか
- ・あり・・・6
 - ・なし・・・14
5. 以前にこの「登山教室」に参加したことがありますか?
- ・初めて・・・18
 - ・あり・・・2 [2回目1、4回目1]
6. 今回参加した理由は何ですか? (複数回答可)
- ・仲間誘われて・・・1
 - ・仲間を見つけるため・・・2
 - ・登山の知識を増やしたかったから・・・19
 - ・登山の技術を習得したかったから・・・19
 - ・情報交換のため・・・0
 - ・もっと理解を深めたかったから・・・7
 - ・その他・・・0
7. 参加費の5,000円は
- ・高い(希望額3000円)・・・1
 - ・適額・・・18
 - ・安い・・・1
8. 各回の講習はどうでしたか?
- (1) 座学①「ナビゲーション技術1(地形図の基礎とその利用)」
- ・理解できた・・・7
 - ・少し理解できた・・・9
 - ・あまり理解できなかった・・・2
 - ・今後の登山に役立つ・・・13
 - ・少し役立つ・・・1
- ・あまり役立たない・・・1
- (2) 座学②「ナビゲーション技術2(地図とコンパスの利用、GPS・スマホの利用)」
- ・理解できた・・・7
 - ・少し理解できた・・・11
 - ・あまり理解できなかった・・・1
 - ・今後の登山に役立つ・・・15
 - ・少し役立つ・・・1
 - ・あまり役立たない・・・1
- (3) 実技「榛名山1回目」
- ・理解できた・・・9
 - ・少し理解できた・・・9
 - ・あまり理解できなかった・・・1
 - ・今後の登山に役立つ・・・15
 - ・少し役立つ・・・2
 - ・あまり役立たない・・・0
- (4) 実技「榛名山2回目」
- ・理解できた・・・14
 - ・少し理解できた・・・5
 - ・あまり理解できなかった・・・0
 - ・今後の登山に役立つ・・・17
 - ・少し役立つ・・・0
 - ・あまり役立たない・・・0
- (5) 座学③「登山計画書」
- ・理解できた・・・11
 - ・少し理解できた・・・6
 - ・あまり理解できなかった・・・0
 - ・今後の登山に役立つ・・・14
 - ・少し役立つ・・・1
 - ・あまり役立たない・・・0
- (6) 座学④「ファーストエイド」
- ・理解できた・・・12
 - ・少し理解できた・・・5
 - ・あまり理解できなかった・・・0
 - ・今後の登山に役立つ・・・12
 - ・少し役立つ・・・2
 - ・あまり役立たない・・・0
9. 講師の対応は?
- ・良かった・・・18
 - ・まあまあ良かった・・・1
 - ・あまり良くなかった・・・0
 - ・良くなかった・・・0
- [意見・感想]
- 教えていただいた内容について、講師毎に表現が異なると分かりにくいので統一してもらいたい。
10. 登山教室のテーマとして興味のあるものはありますか? (複数回答可)
- (1) 座学
- ・読図・・・11
 - ・山の天候と天気図・・・11
 - ・山での危険の回避・・・14
 - ・山での応急処置・・・7
 - ・服装・装備・・・5
 - ・歩行技術・・・13
 - ・行動計画・・・7
 - ・食糧計画・・・4
 - ・生活技術・・・3
 - ・その他(山岳保険、遭難救助費用等)・・・1
- (2) 実技
- ・無雪期のテント泊山行・・・8
 - ・無雪期的小屋泊山行・・・11
- ・縦走路でのロープワーク・・・5
 - ・岩登り・・・5
 - ・沢登り・・・4
 - ・雪山登山・・・10
 - ・その他・・・0
11. 今後、どのような講習会を希望しますか? 今回のような登山教室(ナビゲーション技術とその他2,3講座、実技2回)・・・10
- ・初心者対象で今回と違う内容のもの・・・8
 - ・レベルアップした中級者向け講習会・・・7
12. 登山の指導者資格に夏山リーダー(スタートコーチ)やコーチ1,2等があります。
- ・指導者資格についてどう思っていますか。
 - ・資格を取りたいと思っている・・・4
 - ・あまり関心がない・・・9
 - ・未定・・・6
13. 全体を通して、今回の登山教室に参加してみていかがでしたか?
- (1) 楽しかった・・・17
- ・少し楽しかった・・・3
 - ・あまり楽しくなかった・・・0
- (2) 今後の登山に役立つ・・・18
- ・少し役立つ・・・0
 - ・あまり役立たない・・・0
- (3) 期待通りだった・・・15
- ・少し期待はずれだった・・・3
 - ・期待はずれだった・・・0
14. 感想、ご意見、気がついた点など自由に記入ください。
- 『グループの方々と情報交換ができ、楽しく参加できました。・座学で学んだことを実践することで理解できた。ペアで教え合うことは理解を深めるのに有効であったと思います。・熱心なご指導ありがとうございます。』
- 『大変お世話になりました。優しく丁寧にご指導いただき、お陰様で知識や技術を増やすことができました。後は私の復習次第。しっかり努力していきたいと思います。』
- 『楽しかったです。ありがとうございました。』
- 『初心者にはレベルが高かったように思います。登山はもっと自然を楽しめると思っていたのですが、まだまだ余裕がなく楽しめるまでには時間がかかりそうです。』
- 『コンパスの使い方が何回やっても忘れてしまいましたが、自分でもまたやってみたいと思います。とても楽しい登山教室でした。また参加したいです。』
- 『思っていたよりもずっと良い教室、内容でした。大変ためになり、申し込んで良かったです。座学プラス実際の山行講習があり、分かりやすかったです。ありがとうございました。』
- 『楽しく勉強できました。』
- 『勉強になりました。ありがとうございました。』
- 『大変ありがとうございました。とても楽しく学習させていただきました。今後は希望した各種事業の開催をぜひお願いします。どうぞよろしくお願い致します。ホームページ、SNSでの積極的な情報発信をお願いします。』
- 『コンパスの使い方がたいへん参考になりました。お世話になり、ありがとうございました。』

チャレンジキッズ「自然体験ー岩登りと沢巡り」

10/8(土)群馬県山岳連盟・ジュニア委員会主催-チャレンジキッズ「自然体験(岩登りと沢巡り)」を行いました。この活動は「子どもゆめ基金」の助成活動であり、群馬県教育委員会・上毛新聞社の後援もいただいて開催されています。毎回天気を心配しながらの準備ですが、今回の天気予報では心配なく開催かと思いきや、当日よい天気の中スタッフ一同喜んで出発したものの、土合は小雨模様。予定を少しずつ変更しながら、午後には予定の一つ、マムシ岩での「岩登り体験」を行うことができました。一ノ倉沢出合では、今回特別講師としてお願いした、八木原罔明さんの「日本における登山の歴史や谷川(特に一ノ倉の岩壁)の登山の歴史」等の話を、一ノ倉沢の看板を前にして聞きました。このチャレンジキッズの活動も、八木原さんをはじめとする群馬岳連の方々の、登山界を担う人材を育てたいとの熱意や願いから始まったものと理解しています。午後は天気も回復傾向となり、一ノ倉沢担当スタッフがロープを設置して待っていてくれました。昼食をたべた後、4本のトップロープで交代でクライミングに挑戦しました。



マムシ岩での岩登り体験(左上・下) 雨の中の沢巡り(右上)と一ノ倉沢出合での講話(右下)



株式会社エーアールアイ
東京都練馬区上石神井 3-18-1
TEL 03-5991-4638

群馬の山

7

栗生神社から山頂往復コース 栗生山

難易度 A / 体力度 1

神社 → 〈1:00〉 頂上稜線 → 〈0:10〉 展望台 →
〈0:10〉 奥社 → 〈0:40〉 神社

栗生山は赤城山の東、袈裟丸山の南西に位置する。桐生市黒保根地区にあり、地味ながら地域の名山であり、ぐんま



栗生神社の鳥居

百名山にも選ばれている。栗生神社は、栗生山の南にあり新田義貞の四天王、栗生左衛門頼方が祭られている神社で、武運の神、火伏の神として崇拝されている。ここから栗生山の登山道が始まる。

「群馬の山歩きベストガイド

安心して歩ける 126 コース」



定価 1400 円 + 税
ISBN978-4-86352-249-7

群馬県山岳連盟と日本山岳会群馬支部、群馬県勤労者山岳連盟による群馬県山岳団体連絡協議会の編集で、上毛新聞社から発売中。お求めは岳連総務委員会へ。県内外の書店でも好評販売中。

後編 編集 記集

年も早いもので、師走が目前に迫っている。岳連報「山岳ぐんま」もデザインの一新と電子化を図って、今号で早くも7号目。マンネリに陥らないよう、そして季刊とは言え、できるだけ新鮮な情報をメインに、読んでもらえる「山岳ぐんま」を目指してきたが、まだまだ道半ばにも満たないことは自覚している。岳連も法人化と名称変更を控え、大きな変革期を迎えようとしている。そんな時こそ、広報の重要性が問われる。叱咤激励とご協力を切にお願いしたい。



(有) 山とスキーの店 石井

DreamBOX

伊勢崎市宮子町 3448-2

TEL 0270-21-8025 FAX 0270-21-8026